

刊夕 日一十三月十



三株勿來停車場線

自動車道路に改修

工費約三千圓に地元寄附千圓

山地部落に恩恵甚大

常磐線勿來停車場から川部及 び田人を経て荷路夫村に至る 延長二キロの縣道三株勿來 停車場線は匡救並びに東北振 興事業として改良工事を施さ れたが未だ自動車交通利を 見るまでに至らず沿線関係地 に期成同盟會を結成し現縣廳 赤津庄兵衛氏を會長として更 に改修方の運動を多年續けら れてゐたが最近關係町村長 の協議の結果沿線地元から一 千圓の寄附を決し縣に向つて

家庭防空群に訓示

訓練終了の昨日市長から

平市では今次の防訓を終る昨 三十日午後二時から市公會堂 に家庭防空群の他を招集し青 沼市長の左記訓示があつた 本月二十四日より本日まで 行はれました今回の防空訓 練は是れまでに長く長期に 亘りましたにも拘らず各 位の献身的努力と一般市民 の理解ある協力とに依りま して良好なる成果を収め無 事に終了致しましたことは 御同慶に存すると共に各位 の御努力に對しては深く感 謝する次第であります、申 す迄もなく今回の訓練は内 務大臣の命令に依る昭和十 四年度第三次の防空訓練で

日刊 昭和十三年十一月十三日
発行所 新山片倉町三丁目
電話 二五五五
支店 石城郡湯本町三丁目
電話 二五五五
支店 石城郡玉川村三丁目
電話 二五五五
支店 石城郡小川江組合
電話 二五五五
支店 石城郡小川江組合
電話 二五五五

支那單語

國民政府主席のことを クホミンチオンフォーチ ユーシー、總理大臣は 行政院長でシンチオン ユワンチアン、大臣は 部長でブーチアン、局 長は司長スーチアン、又 は廳長ティンチアン

新山の片倉特約養蠶 組合が語る不満の真相

蠶糸界に好ましくないもの

地方産物の取引に製糸會社の 特約養蠶組合と乾繅組合との 二つがある。此の兩者の存 在が動もすれば蠶糸界に二股 式の行爲を産み其の結果とし て蠶糸界に影響を與へぬ ものが少くない、産繭を何れ に賣らうとも養蠶業の自由 であつて勿論これを拘束する 限りでなく所記二つの處理の あることが寧ろ養蠶業に便 宜なものがあるであらう、謂 はゞ二者の存在はこれを悪く 利用するが良く利用するが 良否を生むものと云はれてゐ るが最近双葉郡新山の片倉 特約組合全部ではなく町の片 倉牧所關係十二組合聯合會

戦地の便り

敵は何でもないが 恐ろしいのは病魔

また暴支野蠻の討伐に出か け銃聲を聞きつゝ前進する 時、全く男子と生れて出征 の出来た身を愉快に思ふ次 第であります、苦難も相當 あります、苦難も相當あり ますが之れが將來の東 洋平和の階段であることを 思ひます、何とも云へぬ様 な喜びが込みあがつて參り ます、支那兵は何ともない が恐ろしいのは病魔であり ますが私は海陸並に引續 いて元氣で軍務に就いて居 りますから御安心下さい、 今のところはマラリヤが流 行して居ります、同病候は 最初非常な寒気がして酷 暑の中にブル／＼ふるふる 着衣のありだけに毛布にく るまつても尚ほ寒い、それ が過ぎると今度は逆頭痛と 熱が出て来る、大抵は病 衰して終ふ、此の豫防は絶 對に蚊に喰はれないこと、 當方はもう間もなく初 秋であります、この期には 學生生活に最も愉快な候で あります、心身共にひき しまつて運動と遊足、讀

商港工事 實現に猛運動

小名濱から東京

小名濱町では會報の如く東京 市に開催の港灣協會總會を機 として商港の災害防止擴張工 事並びに災害復舊工事施行を 總會を動かして主務省に猛運 動をなすべく心組まされてゐ ます、今三十一日午前五時泉發 して東京小野町長、高木助役、 口收入役外町議一同帯同の一 行は平小鐵道の促進運動を共 に内務、大藏、鐵道の各省に手 分けして陳情をなす

廿七日の時化で 六千圓の災害

石城郡湯本村では會て大漁を

石城郡湯本村では會て大漁を 上げた大漁業を今年から再 び迎へて現に操業中であるが 去る二十七日の時化により終 灣のため築港荷揚げ場約十メ ートルを沈下し此の復舊工 事一千圓及び護岸百八十メー トルを崩壊この町村補助工 五千圓を要する災害を受け昨 三十日須藤平土木監督所長出 縣打合せをなし急遽着工する

玉川の村長改選

高橋 武夫

石城郡玉川村では現村長宮内 房枝氏が十一月十九日をもつ て満期となるので明後二日同 選挙村會を開かれるが宮内氏 の再選となる模様である

石城各濱漁漁の 準備で大童へ

魚市場は閑散

小名濱町では鱈漁にはまだ早 く(目下宮城縣沖が漁場)其の 他も漁漁期で魚市場は少量な 秋刀魚の水揚げを見てゐるの の閑散であるが十一月中旬 からの鱈漁の準備で各當業は 大童へなつてゐる

小川江組合で 地下採掘反對

石城郡小川江組合では平市

石城郡小川江組合では平市 平窪地内その他同水路の地下 が日曹鐵業所の石炭鑛區に許 されてゐるものに對し同江筋 は今から二百五十年前澤村勝 爲の開採にかゝる水路の延長 六里餘、灌漑水田一千三百町 歩に及ぶもので數年の繼續 工事により今年度漸く完成し た國庫補助の縣工事を以て問 壁なきを得、増産計畫に邁進 の折柄石炭採掘の結果水路及 び水田に馳騁陥没の恐れある

を憂慮し組合會議の上近く管 理者から同地下の採掘なきや う知事及び仙台鐵山監督局長 に陳情することになつた

錦小學校の椿油

石城郡錦小學校では園部訓

導の指導で椿油の搾油を各家 庭に奨めてゐたが本年も小學 児童に村内の屋敷林その他に ある椿の實を拾はせ一斗五升 を得たので初冬早々搾油をは じめ現在では村内二ヶ所の搾 油所が出来てゐる、なほ同地 は從來椿の實を省みられず放 置されてゐたものである

蝗取りで献金

石城郡水産加工販賣利用組合

石城郡水産加工販賣利用組合 聯合會後生活刷新會員四倉 町堀川鈴木くまさん外二十三 名は蝗取りで得たる金三四圓 十銭を國防献金方四倉署に寄 託した

四倉校の増築

工費四萬八千圓

石城郡四倉町では小學校の狹 隘を告げ八教室の増築をなす ことになつたが用材は町有林 の一部を伐採して大部分をこ れに當て工費は四萬八千圓内 の見込みである

事務家諸兄に
ムツリニペン
を奨む
國産品に斯んなよふペンがあるのは喜ばしいことです
錆びない、書きよす耐
ちよよ、三拍子揃つた
ペンです。
文魁文堂
電話 313番

農業方面

果實蔬菜の荷造り統一

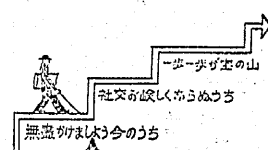
(1) 十五種の木箱と荷造り包装の仕方

農林省では製用材をはじめ、針金、針金など各種の荷造り包装資材の不足に鑑み、これが対策を研究中であったが、この結果、果實、蔬菜の荷造り包装節約に關する原案を作製して、當業者、市場関係者と協議の結果、その根本方針を次の如く決定し、直ちに通牒を發した。このうち最も注目すべきは従來産地及び果實蔬菜の種類などによつて區々であつた木箱を箱名(外法)幅(内)深(内)寸法を統一した事である。

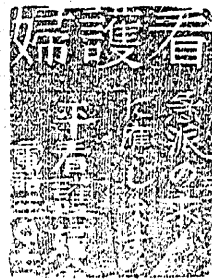
一號 一尺 一尺 一尺
二號 一尺 一尺 一尺
三號 一尺 一尺 一尺
四號 一尺 一尺 一尺
平箱一號 一尺 一尺 一尺
同 二號 一尺 一尺 一尺
同 三號 一尺 一尺 一尺
同 四號 一尺 一尺 一尺
小箱一號 一尺 一尺 一尺
同 二號 一尺 一尺 一尺
化粧箱一號 一尺 一尺 一尺
同 二號 一尺 一尺 一尺
除箱一號 一尺 一尺 一尺
同 二號 一尺 一尺 一尺
林檢箱 一尺 一尺 一尺

十五種に限定統一したことで、更に果實及び蔬菜の種類に從つて容器及び容量、包装を一定し、物資の節約に力用をいれてあることが目立つてゐる。しかしして十五種の標準木箱のうち二號箱は一號箱の二分の一、三號箱は同じく三分の一、四號は同四分の一の容積となつてゐる。

「貯蓄は無盡で」



啓城無盡



内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
平市南町 電話二五八番

入院 應需

便利で 経済な 日下家政婦會の 派出婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから、何を任せしても安心です。

平市白銀町十番地 (電話七二三番)

日下家政婦會
會長 日下 すい子
會員同志の御加入(派出なき閑暇に裁縫や)を御誘ひ致します(編物をお教授致します)

肋膜炎 氣管炎 關節神經痛 肺炎 ロイマチス
... 扁桃腺 中耳炎 骨髄 腰痛 痔疾 ...

生公華
・薬價・
九十五錢
二四十五錢
四

濕布で名薬 山野邊藥局

治淋 新薬 六〇七號

大小の御宴會に...
御家族の御同伴其他の...
御集ひに御座敷

味覺實質 衛生萬點の **マルトモ食堂**
平市四丁目(電話二二三番)

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平市田町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

秋より冬にかけて 婦人洋品 シヨールと防寒具
可愛い子供さんのお帽子とお洋服
豊富陳列して御座います

ツルヤ
平電140

電話五九二番
に變りました

喫茶 酒場を兼ねた。
レストラ サロ
平市銀座街

開業
内臓外科 整形外科 **内木外科醫院**
醫學博士 内木宗八
平市大町二番地
入院隨時

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科
診療時間 午前八時より午後九時まで
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九二番
院醫尻江

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 **五十嵐雄一**
平市新川町「電話三六九番」

高松屋
食品 高松屋
高松屋

債券、公債 兩替、金融 **多田洋行**
平市大町 電話五九二番